

議会だより

みよし

178

2020年11月1日発行

- 令和元年度決算審査 ▶ p.4
- 一般質問 ▶ p.12
- 議会だより意見交換会 ▶ p.20

▶ 表紙写真に関する記事が19ページにあります。

議会だより発行月

2月

5月

8月

11月

次の発行は2月1日の予定です。

住民、企業の生活・経済を守る

5325万8000円

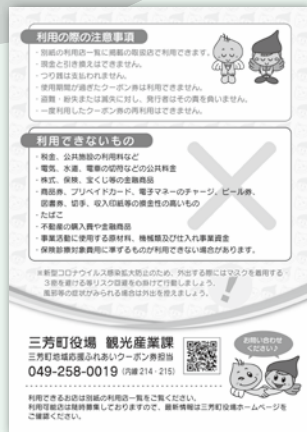
三芳町地域応援ふれあいクーポン券配布事業

町内在住の高齢者と赤ちゃん

令和2年4/1 現在 65歳以上の住民
1人あたり3000円

令和2年4/28～12/31 生まれの子ども
1人あたり5万円

使用期間
令和3年2月末日まで



問 配布対象の基準は。

答 町単独の施策の中で高齢者に限ったものがなかった事と、特別定額給付金の対象外となった新生児への支援とした。

問 町内業者の活性化という事だが、町内のみ有効なのか。

答 町内の事業所に限定し、幅広く募りたい。

避難所コロナ対策事業

533万5000円
コロナ禍での災害発生に対し
て備蓄の強化

問 備品購入費の物置8基とは。

答 既存の防災倉庫が一杯のため、新たに物置を設置し、段ボールパーティション等を保管する。

住民の命と健康を守る

961万1000円

図書消毒器の購入

124万5000円
図書を安全に迅速に貸し出す
ため消毒器を導入

臨時会で補正予算可決！ 新型コロナウイルス感染症対策で 町民の生活を守る！！

2億8334万8000円

問 タブレットの活用は学校内のみか。

答 基本は校内活用だが、第2波に備え貸与も検討している。

問 学習指導員及びスクールサポートスタッフをどのように配置していくのか。

答 学習指導員は各小学校2名、中学校1名、スクールサポートスタッフは各小中学校に1名配置する。

子どもたちの生活・学びを守る

2億 2047万 9000円

公立学校情報機器整備

2億 6290万円
1人1台タブレット端末配備

GIGA スクール構想 ネットワーク整備

613万 3000円
充電保管庫及び家庭用モバイルルーターの確保

学習指導員・スクールサポート スタッフ配置事業

1216万 3000円
学級担任等の補助を行うための配置

【減額事業総額】

△ 1486万 4000円

| | |
|-------------------|------------------|
| 町制施行 50 周年記念事業 | △ 303万 1000円 |
| スポーツ活動補助事業（町民体育祭） | △ 235万円 |
| 第 40 回産業祭 | △ 440万円 |
| 公民館講座事業 | △ 211万 7000円 …など |



令和元年度決算審査 が行われました

令和2年
第3回 臨時会
(7月17日)
第4回 定例会
(8月28日~9月17日)

一般会計決算額

歳入

総額

136億105万6947円

(前年度比 1億2435万663円減)

歳出

総額

130億6181万3132円

(前年度比 3億3560万6514円増)

三芳町監査委員の意見

令和元年度の一般会計は財政の弾力性を判断する経常収支比率は95.7%、将来負担比率は105.1%、実質公債費比率は10.8%となり依然として厳しい状況である。

歳入において、自主財源の主となる町税は約3億6000万円、自主財源全体としては約6600万円の減となったが、依存財源である町債の発行額は1億7350万円減となり歳入総額に対する町債比率は1.2%減となった。町債は世代間負担の公平化や事業実施の財源として必要であると考え、次世代以降の負担を伴うものであることから、今後も中長期的な視点に立ち、起債対象事業を選択することが必要であるとする。

歳出においては決算額が前年度比で約3億3500万円増加した。主な要因は補助費や基金への積立金額の増加によるものである。

ここ数年、(※3)予算の補正または流充用を行った科目について、その額以上の(※4)不用額が生じたものが散見される。事業別予算編成によるものが主な要因と思われるが、年度内の執行見込みを十分考慮し、必要かつ適正な予算執行に努めていただきたい。

令和元年度は町税が減収し、また新型コロナウイルス感染拡大の影響により、町財政はさらに厳しい状況となることが予想される。今後も公債費の増等により経常経費の増加が見込まれる中、財政構造の弾力性を確保していくため、歳出においてはその適正及び必要性の十分な精査が必要となる。特に借用地については使用状況を精査し、単価の見直し、統廃合や必要に応じた買取や返却を検討していただきたい。

町行政全般においては、常に住民の目線に立ち、より効率的かつ効果的な財政運営を進め、一層の財政健全化と住民サービスの向上に積極的に取り組まれることを期待するものである。

(令和元年度 三芳町一般会計・特別会計決算審査意見書 一般会計むすびを要約)

7月17日に令和2年第3回臨時会が開かれ、新型コロナウイルス対策として町独自の住民支援策などが計上された補正予算が上程され可決された。8月28日からは第4回定例会が9月17日まで21日間の日程で開かれ、補正予算案3件など議案13件、報告4件、同意1件、令和元年度の

会計決算認定6件の他、議員発議の(※1)意見書が7件上程、審議されました。議案・同意・認定についてはすべて原案通り可決・同意・認定され、意見書は5件が採択されました。一般質問は12名の議員から(※2)通告書が提出され、3日間にわたって町政への質疑、提案が行われました。

予算審査時の注目事業の決算は？ (議会だより 172号掲載事業)

公共交通補助事業

(75歳以上の高齢者にタクシー運賃やライフバス回数券の購入費の一部補助)

予算額 6000円×1500人 **900万円**

決算額 申請者数 **605件 306万3100円**

中学校1年生ヘルメット購入補助

(自転車ヘルメット着用による安全性確保のため、中学校1年生に購入補助)

予算額 1000円×375人 **37万5000円**

決算額 **96人 9万6000円**

中学校ICT機器維持管理事業

(ICTを活用した授業展開のため、各学校に40台ずつのタブレットPCを配備)

予算額 **951万2000円**

決算額 **842万8644円**

小学校施設整備事業

(トイレの洋式化、空調設備設置など小学校施設の補修及び改修工事)

予算額 **1億4822万2000円**

決算額 **1億3285万4220円**

国際交流事業(マレーシア・オランダ中学生派遣)

(中学生海外派遣団をマレーシア・オランダに派遣するための補助金分)

予算額 (マ)12人+(オ)8人 **632万9000円**

決算額 **568万2008円**

英語検定補助事業

(英語検定3級以上を受験する町内在住中学生に検定料の一部を補助)

予算額 2000円×350人 **70万円**

決算額 **84人 16万8000円**



決算審査ってどういうもの？
使ってしまったお金なのに、なぜ決算審査を行うの？

決算審査とは？

三芳町のような地方自治体では住民から集めた税金等を使う目的や金額を定めた予算案を各年度が始まる前に作り、住民の代表である議会の承認を得る必要があります。

決算審査では、予算の執行または各事業の経営等が適正かつ効果的に行われているか、目的としていた行政効果が得られたのかなどを確認し、認定するかどうかを判断します。



やっぱり私たちの税金は有効に使って欲しいわよね。
でも、もし認定されないとどうになってしまうの？

万が一、予算案が否決されると予算の執行が行えず、町の行政機能がストップしてしまうという重大な事態になってしまう一方で、決算の不認定には特に法的拘束力はありません。

ただし不認定の議決を踏まえて行政が必要と認める措置を講じたときは、町長は速やかに、その内容を議会に報告するとともに、これを公表しなければならないものとされています。



でも不認定にならないよう、町にはしっかりとしたお金の使い方をお願いしたいわね。



委員長
久保 健二

副委員長
増田 磨美

委員
鈴木 淳 吉村美津子
小松 伸介 桃園 典子
細田 三恵 林 善美
菊地 浩二 落合 信夫
本名 洋 内藤美佐子
細谷 光弘

委員長報告

本委員会は、8月28日開会の第4回定例会において、決算認定6件を付託され、9月7日、8日、10日及び11日の4日間にわたり委員会を開催し、委員13名、議長、町長、教育長並びに関係する各課の説明員出席のもと、審査を実施いたしました。質疑後の自由討議では、一般会計決算について、認定に賛成の会派からの意見として

- ふじみ野市からの浸出水、量が増加しているにもかかわらず歳入額が減っているのは疑問。協定書の見直し等が必要ではないか
- スズメ蜂駆除事業において財源が足りず補助できなかった事例があった。住民の安心安全のため、申請者が全て補助を受けられるよう予算確保に努めるとともに、「(仮称)害虫・害獣駆除事業」に改めるなどの大きな枠での予算組みが必要ではないか
- 国民年金についての相談件数が令和元年度は約4000件となっており、加入者の制度に対する理解を深める努力が必要
- 国際交流事業で予算の積算と異なる事業内容が認められた。内容または趣旨が異なる場合は事前に(※5)全員協議会等で説明を行い、予算の執行前に補正予算を上程すること
- 教育費に関する答弁がスムーズでなく、余計な疑義を生じる結果となってしまっている。執行した事業内容に対する答弁の準備を今後は十分に行うよう求める
- よみ愛・読書ふるさと絵本及びトートバックの在庫が多くあるようだが、有料頒布以外にも町のPRとなるよう、効果的に活用すること
- 新型コロナウイルスの影響で中止された相談事業や講演会等は、今後状況を見ながらフォローすること
- 子ども食堂に関する予算が未執行となっているが、子どもの貧困対策や孤食、コミュニティの場

として重要な事業であった。未執行になった要因を検証し、再発防止に努めること

- 入間東部シルバー人材センターの契約金額の割合が市町で差が生じている。しっかりと分析した上で、会員の労働機会の確保に努めること
- 児童福祉費の賃金の不用額が多額となっている。適切な執行が必要
- 予算時の過大見積もりや、周知不足のため利用者が少なかったことにより、一部に多額な不用額が見られた。今後は出来る限り不用額が発生しないように予算を有効に使うこと
- 決算書および事業別決算説明書の事業概要等の表記について、予算と統一性を図ること

などの意見がありました。

つづいて、認定に反対の会派からの意見として

- 正規職員の採用を基本とし、会計年度任用職員の採用については職種によっては賃金の増額を含め、募集・採用を計画通り行えるようにすること
- 藤久保地域拠点施設基本構想について、学校プールを設置するかしないかは、民間プール施設委託の事業内容をしっかりと検証すること。今後の基本計画については住民の意見を十分取り入れ住民の納得いく施設とすること
- 学校施設工事・修繕料、学校備品購入費は学校の要望に沿えるよう増額すること
- 地域交通改善対策事業は、更なる改善を進めると同時に抜本的な公共交通政策の推進を求める

などの意見がありました。

採決の結果、令和元年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定は「賛成多数」で原案どおり「認定すべきもの」と決定いたしました。

主な質疑内容

康保険業務なども併せて行っている。また国民年金の相談業務は年間4000件ほど、届け出受理等も2000件弱あるため妥当と考える。

スズメ蜂駆除事業

問 前年度は予算40件に対して申請が30件。令和元年度は40件の予算枠一杯に支出しているが、申請しても補助されなかった件はあるか。

答 補助金枠がいつぱいになつてしまいいく件ほど補助できなかった。

問 蜂の発生は町民にも危険が及ぶが、40件の予算で足りていると考えているのか。

答 その年によって発生状況は変わってくる。今後はそういった点も検討課題となってくる。

国民年金事業

問 決算書上では国民年金事務としての業務はパンフレットの配布と相談業務。業務内容に対して人件費が高額と感じるがどうなのか。

答 決算書上の職員数に計上されている職員は国民健

シルバー人材センター

問 2市1町での事業であるが、特に富士見市の契約金額が多くなつていて三芳町の契約金額が少ない、原因等を分析しているか。

答 特に分析はしていないが、今後注視していきたい。

問 新規の契約企業数は。把握していない。

児童福祉費賃金

問 児童福祉費の賃金における不用額が109万円、687万円と非常に多い。どう考えているか。

答 予算作成時には現状維持のための最低限の賃金と、基準以上に人員を手厚く配備したいという現場の声に対応し、追加臨時職員分の賃金を予算計上したが、なかなか人が集まらなかった結果とみている。

子ども食堂支援事業

問 予算化されていた子ども食堂運営補助金が使われなかったのはなぜか。

答 衛生面を重視した要綱作成に当たり、保健所との協議が続いている間に時間が過ぎてしまい未執行となつた。

てに配置することを考えていたが、実際には人が集まらず、不用額が発生した。

問 人員配置の基準はクリアできているのか。

答 基準は問題ないが、気になるお子さんへの細やかな対応のために加配を求め現場の声に対して対応できなかった部分もある。

国際交流事業

問 予算計上されていなかったオランダ教員来日に係る謝礼36万6千円の内訳は。

答 通訳、教員のホームステイ先、日程や連絡調整役に支払うもの。

問 三芳町に滞在することになった経緯は。

答 当初はマレーシアとの教員相互交流を予定していたが、先方の都合で実施できなくなった。オランダ教員は色々な国を旅をしている方で日本にも寄るという話を聞き、よい機会ということで三芳町で子どもたちへの指導をお願いした。

問 当初の予算とは違う使用で処理すべきだったのではないか。

答 マレーシアからオランダに変更になったものの、子どもたちへ指導してもらうという目的は同じだったので支出した。

問 国が変わっても教師を呼ぶという内容は変わらないので問題ないということか。

答 事業的には国際交流事業ということで、予算上問題ないと判断し執行した。

問 議会に説明が必要と考へなかったのか。

答 予算積算時と大幅に食い違う場合は今後説明していきたいが、あくまでも執行権の範囲ということで問題ないと考えている。

よみ愛・読書ふるさと絵本

問 絵本の有料販売数が予算比でかなり少ないが理由は。

答 広報に記事を出したり事業のたびに販売はしたが、思った以上に売れなかった。今後は芋掘り大会などでの販売も検討している。

問 在庫はどのくらい抱えているのか。

答 「おいしくなあれ富の

いも」は410冊、「かえつてきた竹間沢車人形」は増刷したこともあり2026冊。今後は出向いての販売もしたい。在庫は多く抱えているが、町の財産を作れたと自負している。

中止事業・講演会

問 みらいのぞみ学校創設支援事業の報償費が未執行だが。

答 生徒指導、教育相談の関係の心理士を講師として研修会を予定していたが、新型コロナウイルスの影響で実施できなくなった。

問 大変重要な講習会と思うが、その後はどうしたのか。

答 不登校に関わる内容のテーマで実施を予定していた。重要なテーマなので継続して実施していきたい。

問 コミュニティ・スクール推進体制構築事業の不用額の中身は。

答 先進地視察として横浜市を予定していたが、身近な箇所でも先進地があるという事で新座市とふじみ野市に変更したため不用額が生じた。

民間施設プール利用

問 民間プールへの委託料にはバスの送迎代も入っているのか。

答 バスの使用料も含めた額。

問 予算審査時の説明では、民間プール施設利用の目的は藤久保地域拠点施設整備に伴い、藤久保小学校のプールの廃止ができるかを検証していくという話だったが、検証は終わったのか。

答 現時点では検証中。

児童相談直通ダイヤル電話料

問 予算と決算がほぼ同額だが、相談件数はほぼ見込み通りだったのか。

答 月の基本料金が決まっているため、ほぼ予算額通りとなる。令和元年度は6、7件。

問 このツール以外の相談は。

答 子どもを守る地域ネットワーク協議会の活動報告では、育児やしつけの相談などが326件。

学校給食食材費不足分

問 学校給食費の補償金142万円の支出理由は。

答 新型コロナウイルスの影響で3月が休校となった。それに伴い給食を停止することになったが、業者には発注済みだったため、キャンセルできない食材も発生した。保護者から3月分の給食費は徴収しなかったため、補償金として支払った。

プレミアム付商品券事業

問 消費税増税で落ち込む消費喚起としての国事業だが、町内の購入件数は。

答 購入されたのは住民税非課税世帯が2019人、子育て世帯が803人で計2822人。

問 購入された券の利用状況は。

答 使用割合は99・6%。

問 今後の同様な事業のためにも利用した店舗や利用額などの検証が必要ではないか。

答 担当課間で相談し検討していく形になる。

賛成論 公明党

賛成論

財政厳しい中、高齢者への公共交通補助事業や学校トイレの洋式化事業、英語検定補助事業の導入、コミュニティ・スクール推進体制構築事業等、公明党が要望した事業が行われた事を評価する。今後も行財政改革に努め、防災対策や交通安全対策に努めるよう要望し、賛成する。

賛成論 三芳みらい

賛成論

令和元年度の事業の内容及び予算の執行状況を慎重に審査したが概ね良好だった。但し経常収支比率が悪化したことは問題で、今後も経常的経費の抑制が必要。また事業の内容及び趣旨に変更がある場合には、予算の執行前に全員協議会等で説明を行うなど丁寧な対応を取ること。

賛成論 輝

賛成論

歳出では人件費、特に賃金の不用額が目立った。事業の執行や人づくりにはマンパワーが欠かせない。適切な予算の執行を求める。歳入では町税で高い納税率を保っている。住民の納税意識の高さと職員の工夫が窺える。今後はコロナ禍のなか住民福祉の向上に努めることを期待し賛成とする。

反対論 日本共産党

反対論

小中学校の支援員配置事業、コロナ禍での小中学校卒業式DVD配布などは評価できる。正規職員を基本とし、会計年度任用職員の採用は賃金の増額も含め計画的に募集、採用を行うべき。地域交通改善事業は小型循環バスの導入を含め抜本的改善を図るべき。福祉向上を求め一層の尽力を要請する。

特別会計

国民健康保険

歳入総額

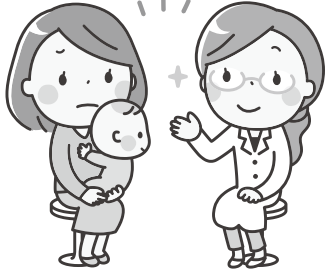
38億3739万7000円

歳出総額

37億3517万3000円

歳入歳出差引額

1億2222万4000円



問 実質収支額は1億222万4000円となっております。この金額でふじみ野市、富士見市が行っている多子世帯の均等割の免除制度を実施すべきでは。

答 現在のその予定はない。

介護保険

歳入総額

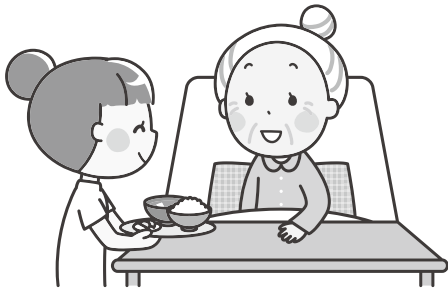
25億8921万2000円

歳出総額

24億5511万1000円

歳入歳出差引額

1億3410万1000円



問 実質収支額と介護保険給付費準備基金額から、来年4月からの介護保険料の値上げをすべきではないと捉えるがどうか。

答 第8期介護保険事業計画を作成中。今後、全体を考へての判断になると捉えている。

後期高齢者医療

歳入総額

4億9756万5000円

歳出総額

4億8902万8000円

歳入歳出差引額

853万7000円

企業会計

三芳町下水道事業は令和元年度より公営企業会計に移行しました。理由は事業の経営状況や財政状態を明確にし、健全な事業運営を行うっていくためとしています。

水道事業会計は既に公営企業会計になっています。

下水道事業

○処理区域内人口

3万5864人

○普及率

93・9%



支出
2億7619万8106円

- 公共下水道建設事業 1576万5200円
- 流域下水道事業 2770万9530円

収入
8125万845円

- 企業債 4320万円
- 一般会計からの繰入金 2243万5105円

（※7）資本的収入及び支出

収入
3375万3949円

- 配水及び給水費

支出
7億8850万6495円

- 原水及び浄水費
- 配水及び給水費

（※6）収益的収入及び支出

収入
8億5897万5291円

- 給水収益
- 水道加入金

支出
7億5593万7429円

- 水道使用料
- 一般会計からの繰入金

水道事業

○給水人口

3万8017人

○普及率

99・5%

（※6）収益的収入及び支出

収入

8億5897万5291円

支出

7億5593万7429円

収入

1億4154万1500円

支出

3億3830万3000円

企業債償還金

1億2148万4144円

浄水場自家発電設備更新工事

1億3830万3000円

企業債

1億4154万1500円

公共下水道建設事業

1576万5200円

流域下水道事業

2770万9530円

給水収益

8億5897万5291円

水道加入金

7億5593万7429円

一般会計からの繰入金

2770万9530円

補正予算

◆一般会計補正予算(第5号)

○主な事業

- ・花火打上業務委託料及び協力地権者謝礼(5か所) 40万5000円
- ・町制施行50周年を祝い、町内で花火を打ち上げます。
- ・道路反射鏡購入(13枚) 50万9000円
- ・道路に設置してある反射鏡のうち、破損、くすみ、歪みがあるものを交換します。
- ・土のう袋(800枚)、土のう用川砂(6m) 10万3000円
- ・台風などの風水害に備え、土のうを製作します。
- ・子どもの貧困に関する実態調査業務委託料 275万円
- ・介護保険特別会計繰出金 1283万円
- ・低所得者の保険料軽減のために介護保険特別会計に繰り出します。
- ・最終処分場浸出水処理施設進入路設計業務委託料 523万6000円

- ・廃棄物埋設地土壌分析調査業務委託料 179万3000円
- ・最終処分場浸出水処理施設電源敷設替工事 306万9000円
- ・道路修繕工事費 5000万円
- ・町道7路線及びその他全般修繕工事
- ・道路改良工事費 8091万5000円
- ・道路後退用地、雨水排水対策の改良工事(町道2路線及び道路後退分改良工事4箇所)



工事が予定されている内の1路線(町道幹線14号線)

インフルエンザ ワクチン接種に補助

◆一般会計補正予算(第6号)

新型コロナウイルス感染症の流行が懸念される中、インフルエンザの流行に備え、インフルエンザワクチン

ン接種希望者に費用の一部を補助します。

- 補助額：1人1500円
- 高齢者(65歳以上)分 615万円
- 妊婦・乳幼児(小学校2年生分) 247万5000円

PCR検査対象者 拡大

◆一般会計補正予算(第7号)

PCR検査業務委託料 1000万円

施設など(介護入所施設、保育所(園)、障がい者施設、みどり学園、小中学校など)で新型コロナウイルス感染症が発生した際に、行政検査及び保険診療の対象にならなかった施設などの利用者及び職員の希望者を対象に無料でPCR検査を実施します。

賛成討論 輝

インフルエンザワクチン接種費補助は町独自の施策として評価するが、一方で町独自の住民支援事業には事業者や高齢者、新生児など対象を制限したものが目立つ。経済状況のさらなる悪化など必要性を感じた際には、分け隔てのない住民支援を果敢に行うことを期待して賛成討論とする。

賛成討論 公明党

この冬は新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザが同時に流行する恐れがある。厚労省はインフルエンザワクチンについて必要とされる方に確実に届けたいと発表した。そこで町は65歳以上、妊婦、乳幼児から小学校2年生までの接種に予算を付けたことは大いに評価するものである。



PCR検査対象の小中学校

子どもたち1人1台の教育用タブレット

財産の取得

・学習者用コンピュータ

2994台

・指導者用コンピュータ

116台

取得金額

2億6290万円

契約の相手先

リコージャパン株式会社

意見書

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の拡大による、経済的・社会的影響で、地方自治体の一般財源の激減が避けがたくなっている。よって国に対し、地方自治体の安定的な財政運営に関する対策として、令和3年度の地方税制改正及び地方財政対策を実施するよう求める。

提出先 国関係機関

ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書

ドクターヘリは、救急救命の切り札として全国43道府県に53機配備され多くの尊い人命を守ってきた。しかし、搬送件数の増加に伴い、運航経費と公的支援との間に乖離が生じ事業者の財政的負担が重くなっている。今後の安定的かつ持続的な運用が可能となるよう支援強化を強く求める。

提出先 国関係機関

介護事業所への財政支援を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の長期化による介護崩壊を防ぐ事が求められる。厳しい職員体制の中で利用者の生活を支えている介護事業所、介護従事者に対する財政支援の抜本的強化が必要。高齢者が安心できる介護保障のために介護現場に対し国として最大限の支援を行うよう要望する。

提出先 国関係機関

地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、我が国のデジタル化の推進について様々な課題が浮き彫りになった。

デジタル技術により我が国を強靱化させ、本格的・抜本的に社会全体のデジタル化を推進するにあたり、政府に地方自治体のデジタル化の着実な推進のための支援を求める。

提出先 国関係機関

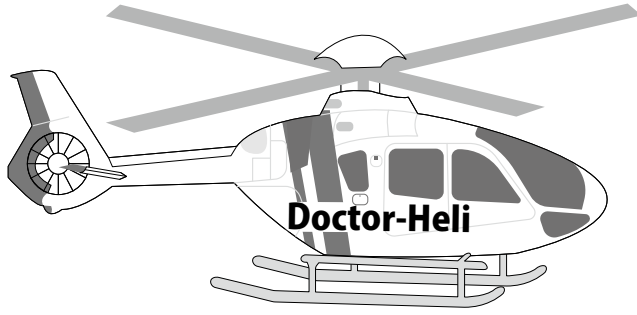
骨髄バンクドナー登録に関する意見書

骨髄バンクは白血病等患者とドナーの橋渡し役を担っている。

新型コロナウイルスの感染拡大により新規ドナー登録者数が急減し、長期化が予想される。

コロナ禍でもドナー登録者数の拡大のためオンラインでの登録方法やHLA型検査は口腔粘膜のスワブ採取方法の導入を求める。

提出先 国関係機関



同意しました

任期満了に伴う委員の選任について、議会に同意を求められたので適任と認め同意しました。

三芳町固定資産評価審査委員会委員

船津 輝佳氏



ウィズコロナ「新たな日常」構築

公明党
内藤美佐子
ないとう み さ こ

問 児童生徒一人一台タブレット端末の整備進捗は。
答 現在入札を行い、業者を選定している。関係機関と連携し準備を進めている。
問 不登校児等の特別な支援が必要な子どものタブレット端末活用の支援準備は。

答 必要なサポートを研究している。不登校児にはタブレット貸与やオンライン学習について行う予定だ。
問 文化芸術等の活動支援として、オンラインを利用したコンサート等の配信は。

答 この度、文化会館のLAN環境を充実したので、利用促進を図り推進する。
問 図書館等の公共施設は、利用者が混雑状況を把握できるようにしてはどうか。

答 混雑状況を知らせるシステムは今後の課題の一つ。現在、調査を始めている。

ICT活用の行政は

問 行政の業務効率化に、RPAやAI・OCRの導入、申請手続きの電子化は。

答 情報化の推進は必要不可欠。調査研究し推進する。

問 スマホのコミュニケーション

ションツールを利用し、情報発信・相談窓口・手続き案内・電子申請ができるようにしてはどうか。
答 費用対効果を見ながら、より良いタイミングで住民が使いやすい方法を考える。

新路線バス運行は

問 藤久保地域を通るライフバス新路線の運行が遅れているが、その要因は。

答 ①新路線上の地域住民への丁寧な説明②各関係機関との協議とその承認③安全対策として交差点改良や歩道整備④(※A)幹線5号線(※B)17号線のスクールゾーン解除⑤スクールゾーン解除に当たり地域住民の合意⑥スクールゾーン解除について一部議員による反対運動、以上が大幅に遅れている要因だ。



地域に安心と安全の体制構築を!

公明党
桃園典子
もも その のり こ

問 指定避難所の案内看板の設置について、周知効果の高い場所へ再検討しては。
答 設置場所の見直しをしていきたい。

問 案内看板の情報の更新が必要では。
答 板面の更新を出来るだけ早く対応していきたい。

郵政宿舎の跡地利用について

問 郵政宿舎の現況について住民の不安の声が高いが、日本郵政へ土地施設の管理内容を確認しているか。
答 管理会社による月一度の巡回・年二回の除草。他に電話をすれば対応も可能。

問 町として日本郵政へ宿舎跡地の有効活用を再度働きかけをしては。
答 地元自治体が要望をすることは可能だが、通常は民間同士での売買となり、現在は未定のような。

障がい者支援の更なる拡充を

問 多様な移動手段への支

援で「バリアフリー自転車」の購入補助はできないか。
答 補装具に指定されていない事や高額である為公費による補助は難しい。

問 町として障がい者の自立支援への今後の取り組みは。
答 障がい者福祉政策を進めていきたい。自立の為に相談・就労支援など細かいニーズにしっかりと応えていく事が大事と考えている。

学校での心の健康教育について

問 児童生徒の不安やストレス軽減のため心の健康教育が必要では。
答 積極的に行って行くように周知していく。

問 町は児童生徒の心の支援に今後どう取り組むのか。
答 心の支援への組織力を向上させ相談しやすい体制や風土を作っていく。



旧郵政宿舎
指定避難所案内看板

(※数字)または(※英語)が付いている用語についてはP23をご覧ください。



住民軽視! 絶対させない許さない

輝 久保 健二
くぼ けんじ



問 今定例会での町長の発言に「一部の議員の反対活動によりスクールゾーンの解除が遅れている」というものがあった。私の認識は①「町として解除は要望していないが警察との捉え方の相違により、今年4月からスクールゾーンの解除が決定した。町としては取り消しをしてもらうよう食い下がったが、一度決定したものは覆せない」と2月の全員協議会での町からの報告があった。

②その報告を受け、東入間警察と埼玉県警察に行ったが、町長の答弁内で名前を出された私を含めた数名の三芳町議会議員及び県議会議員が行動した理由は、解除反対の要望のためではなく、「説明会でも反対意見が大勢を占めているように、地域住民の同意を得られていない状況でもスクールゾーンの解除が出来るのか」の確認のためであった。

③個人的には、周辺道路を含めた交通安全対策が進むのならば、解除も妥当と感じるし、その考えは担当課にも今まで話をしてきた。町民の安心安全のための議

員活動を反対活動と捉えており、事実と異なる発言となったのは非常に残念である。そのスクールゾーン解除については7月30日と8月1日に2回目の住民説明会が開催された。説明会会場には所管警察署の担当署員も来ていたが、説明会終了後、解除についての協議はしたのか。

答 東入間警察署と協議をした。今後は(※C)幹線19号線の交通安全対策を、交通規制を含めて検討し進めていく。解除に反対の声もあるが、一部の住民の声しか聞けていない。幅広く住民の声を聞いていき、引き続き解除についても進めていく。



児童、生徒、保護者、地域住民の意見に耳を傾け進めてほしいスクールゾーン問題



小中学校の学校開放について

三芳みらい
林 善 美
はやし よし み



問 学校開放で校庭を利用する場合は日程調整会に参加するが、会を指定管理者に委託している効果は。

答 平日の夜間、土日祝日の事業なので、利用者の利便性の向上が図られている。行政事務事業のスリム化にもつながっている。

問 オンラインでの予約システムを検討しては。

答 利用団体へのアンケートでは概ね現在の形でよいとの回答だが、2か月に1回の開催やオンラインによる予約システムの導入等、費用対効果も含めて検討していく。

問 校庭の除草を委託しては。

答 校庭の状況を確認しながら業者への委託についても検討していきたい。

水道事業について

問 当町に敷設されている配水管の敷設時期は。

答 最も古いものは昭和56年で、毎年施工されている。

問 敷設替えの予定は。

答 竹間沢東地区は、軟弱地盤等を考慮して優先的にポリエチレン管に敷設替えを行っている。

問 一般家庭で水質検査は行っているか。

答 定期的には行っていないが、濁り水の発生状況に応じて行うことは可能である。

問 濁り水が出た場合の対応は。

答 発生頻度の高い場所は短期で管の洗浄を行い、事前に濁り水の発生を抑えるようにしている。町全体では町内を5ブロックに分けて5年周期で管の洗浄を行っているが、定期洗浄の周期の変更を検討している。

問 小学4年生の水道学習において、担当課による出前授業を行ってはどうか。

答 コロナ禍において必要であれば検討していきたい。





小中学校情報モラル教育について

三芳みらい
細田三恵
ほそ だ みつ え



問 当町での児童生徒のス
マホ所持率は。

答 小学6年生で73%、中
学2年生で92%。

問 学校休校中の児童生徒
のインターネット利用時間
の増加の把握はしている
か。

答 小学校で161分、中
学校で190分でコロナ前
の内閣府の調査より増加し
ていることがわかった。

問 命の大切さについて児
童生徒にどの様な指導をし
ているか。

答 命の大切さを実践する
教育を更に推進する為に、
医師による講演会や獣医師
による出前授業も毎年各学
校の授業で実施している。

問 「元気に育つ志木っ子
条例」の様な条例制定の検
討は。

答 スマホ利用の約束を周
知し家庭への啓発に強め
る。

答 総合教育会議も開かれ
るので検討していきたい。

**花いっぱい推進事業に
ついて**

問 事業の目標達成は。

答 各々の活動を通して住
民相互の交流を深め豊かな

コミュニティの満足度を
高めて貰うことが重要。

問 団体の方々の交流会、
意見交換会の開催は。

答 団体の声を聞くことは
大事、意見や情報の交換も
有意義な事と考える。今後
はどの様なコーディネート
が出来るか考えていく。

問 みずほ台駅西通り線に
高齢者の為の休憩する椅子
の設置をしては。

答 現在は県の在庫はな
く、地元企業に協力して貰
える様に声掛けしていく。

マイナンバーについて

問 当町において情報セ
キュリティは万全と言える
か。

答 ウイルス感染防止の為
インターネットを介した
後、外部との通信禁止や町
で制限するファイヤー
ウォールの制限等に努めて
いる。



暗礁に乗り上げたバス路線の再編

輝
菊地浩二
きくちこうじ



鉄道の駅がない三芳町に
とって使いやすい公共交通
は、かねてより町の重要課
題の一つだ。住民の満足度
調査でも公共交通の充実を
願う声はとても多い。

デマンドタクシー終了の
あと、バス路線の再編計画
が発表されたが、まだ実施
には至っていない。町住民
の高齢化も進み、バス路線
の再編、新しい公共交通の
導入が待たれる。

問 新しいバス路線の再編
は前回の定例会の一般質問
では令和2年11月に運行開
始と答弁があったが、もう
一度確認したい。

答 新路線の運行開始を11
月に予定していた。同時に
進めていた(※A)幹線5
号線・(※B)幹線17号線の
スクールゾーンの規制の解
除に向けて地域住民や警察
との協議を進めてきたが、
現段階では解除は困難な状
況であり、新路線について
は現在暗礁に乗り上げてい
る。

問 スクールゾーンの解除
に時間がかかるのであれ
ば、一番最初に提案のあっ
た、スクールゾーンの時間
帯は別のルートを通る当初
案を進めるべきではない

か。

答 地域公共交通会議では
スクールゾーンを避ける路
線を採用せず、路線が単純
化されたことは利用者にも
良いこととの意見もあり、
またスクールゾーンの解除
が難しい路線を大型バスが
走るとは安全性を確保で
きないという警察の意見も
あった。今後、再度協議が
必要と考える。

問 現在よりも小型のバス
を通すことで解決できる安
全対策があるのでは。

答 バスのサイズについて
も地域公共交通会議で協議
した。バス運行会社でもサ
イズを現状よりも小さくす
ると、積み残しや仮に満員
となっても採算が合わない
ということだった。





コロナ禍における学校の状況は

日本共産党
本名 洋
ほん な ひろし



問 長期の休校、そして学校再開後も子どもたちは不安とストレスを抱えての登校となっている。再び長期の休校を判断せざるを得なくなった場合の対応は。

答 学びの保障と心身の健康が重要である。環境整備を進めていきたい。

問 長期の休校は家庭環境の差異などが学習格差や心の変化に大きな影響を与えたと思うが。

答 児童生徒の学習の遅れや心の変化に影響があった。今後もしも細かな支援と見守りが必要と考える。

問 夏休みに休みをまとめ取りするなどの1年単位の变形労働時間制の導入は無理があるのでは。

答 夏期休業中を利用して実施する研修会や、保護者面談、児童生徒の補充学習などが難しくなる。国や県の動向を注視していきたい。

問 コロナ禍において、今こそ少人数学級に踏み出す時ではないか。

答 国も実施検討を進めている。国や県の動向を見据えながら検討していきたい。

三芳町第5期障がい福祉計画について

問 基幹相談支援センターを設置できたか。

答 本年度中に町直営事業として位置付ける予定。

問 介護保険と障害福祉サービスの両者を利用するための計画相談体制はできているか。

答 適用関係が国から示されているのを参考にし協議しながら相談する体制を構築している。

問 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築できたか。

答 「我が事・丸ごと」の地域づくりに保健所や医療機関の機能を付加し、自立支援協議会も活用しながら機能を強化する方向である。

問 「我が事・丸ごと」の地域づくりに保健所や医療機関の機能を付加し、自立支援協議会も活用しながら機能を強化する方向である。



障がい者との共生社会を



コロナ後の住民ニーズの把握を

輝
鈴木 淳
すず き じゅん



問 新型コロナウイルスの感染拡大防止を理由に町の各種事業は延期や中止となっている。この機会に事業の必要性・優先度を再検討し、それらの低い事業は凍結することで、職員には本来の現業に専念してもらおうといった考えはあるか。

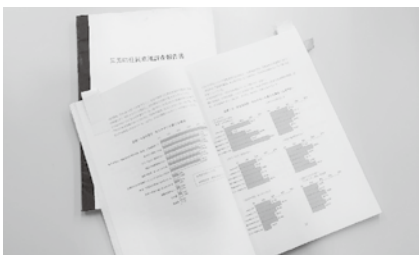
答 町の計画した事業は必要性があると思っている。で引き続き実施するが、アフターコロナという視点から事業内容を考えていく必要はあると思っている。

問 現在は4年毎に、施策への住民満足度や各地域の課題把握を目的とした住民意識調査が行われている。この調査結果は平時の町政運営に影響を与えるのか。

答 町の住みやすさや満足度、各分野における住民ニーズの基本動向を把握し、過去の調査結果と比較して今後の施策展開に資するものと捉えており、平時にはあくまでも施策実施の判断指標の一つと考えている。

問 コロナ禍の影響で生活様式や住民意識が大きく変化し、新しい住民ニーズが生まれている。臨時住民意識調査による住民ニーズの把握が必要ではないか。

答 新型コロナウイルスにより住民の生活スタイル、生活環境や経済活動は大きく変化している中、雑誌で「コロナ時代の移住先ランキング」4位と高い評価を得たことは、これまでの政策を評価されていると捉えている。今のところ臨時調査は考えていない。



無作為に抽出された2000名の町民を対象に住民意識調査は行われます

その他の質問

交通事故減少に向けた施策について

問 今年10月に行われる国勢調査ではインターネットでの回答もできる。町の調査でも回答率向上のためにインターネット等での回答方法を導入してはどうか。

答 SNSの活用なども含めて考えていきたい。



空家の適正管理・利活用の考えは

公明党
小松伸介
こまつしんすけ



問 地域毎の空家数は。
答 上富13件、北永井44件、藤久保102件、竹間沢6件、みよし台0件。

問 緊急対応が必要な案件は。
答 すぐ倒壊する危険はないが台風等で飛散物が生じる可能性のある案件が数件。

問 三芳町空家等の適正管理に関する条例で定める軽微な措置等を講じた事は。
答 宙吊りアンテナの撤去、倒れかかった樹木の伐採等に対応した案件がある。

問 条例制定後の課題点は。
答 所有者不明や所有者に対応頂けない空家に対し、どこまで町が対策を行うかの基準を設ける必要がある。

問 ワンストップ相談窓口の検討状況は。
答 埼玉県宅地建物取引業協会埼玉西部支部と空家等の対策について、ワンストップ相談事業に関する協定締結に向け協議している。

問 空家の維持費シミュレーションを行う等、無料相談の検討状況は。

答 今後相談が増えると思われる。しっかりと検討行う。
問 空家利活用の検討は。
答 意向調査等行い検討。

問 マイホーム借上げ制度の導入を検討しては。
答 今後計画と共に様々な有効な制度を検討している。

問 入間東部シルバー人材センターとの協定締結は。
答 課題はあるが進めたい。

問 ふじみ野市はごみ処理業者と協定を結び、相談等行っている。当町の検討は。
答 他自治体の事例も参考にしながら対策を進めたい。

教育行政について

問 文科省は学校へ携帯電話等持込を条件付で認める通知を出したが町の考えは。
答 県教育委員会の通知を踏まえ適切に対応している。

問 学校行事に保護者等が参加可能な体制構築は。
答 感染状況を鑑み検討する。



スクールゾーン解除と新バス路線

三芳みらい
細谷光弘
ほそやみつひろ



問 (※B) 幹線17号線のスクールゾーンの歩道部分と県道の三芳小の通学路になっっている歩道部分には、どのような危険の差があると考えてるか。
答 共に歩車道境界ブロックがあり歩道への車両侵入事故を防ぐ同じ効果があり危険の差は無いと考える。

問 埼玉県警の説明では歩道がある場合、新たなスクールゾーンの設定は出来ない。県の基準に従ってスクールゾーンの早期解除を行い、一日でも早く新バス路線を運行すべきではないか。
答 スクールゾーンの早期解除に向けて警察と協議し、住民の皆様と議員の意見も聞きながら早期運行に向けて取り組んで行きたい。

問 北永井第3区の通学路部分はライフバス路線でもあるが道も狭く大変危険である。道路西側に建物の無い現状の間に歩道を整備すべきと思うがどうか。
答 今後道路拡幅工事を進める中でここについても歩道を含めた整備が出来るよう検討していきたいと思う。

問 ①町の回答から、ライフバスを通す路線は安全な幅員を必要とする道でなければいけない点。②今回問題となっっている(※A)幹線5号線(※B)幹線17号線と県道三芳富士見線間と比較しても歩道は無く、道路も狭いので確実に数倍も危険な点。
③北永井第3区に住む皆さんにとつて、7番線のライフバスが無くなるのは更に不便になるという点。以上3点を踏まえ町長に再度同じ質問をする。
答 この場所については、非常に重要であるという認識を持つている。歩道整備の方針を出しているのので、安全対策としては、優先順位はあるが、しっかりと取り組んで行きたいと思う。

その他の質問

コロナ禍の高齢者対策について



県道三芳富士見線

幹線17号線



高齢者が自分らしさを守るために

日本共産党
増田磨美
ます だ ます み



らしつかり検討したい。

藤久保地域拠点施設基本計画の行方

問 第8期介護保険事業計画は令和3年度から5年度の計画で、令和2年2月には策定に向けて調査対象者ニーズ調査も済んでいる。介護や介護保険の入口となる地域包括支援センターと町の連携は。

答 毎月各地域包括支援センターとは連絡会議を行い、情報共有を行っており、緊急対応が必要な場合は一緒に同行訪問を行っている。

問 地域包括支援センターは自治体で管理する高齢者のためのサポートセンター。地域に住む65歳以上の高齢者や高齢者に係る人なら誰でも利用できる「何でも相談窓口」だが、ニーズ調査では62%が理解していないことが分かった。町はどのように対応していくか。

答 住民への周知を含めて改めて検討していきたい。

問 第8期介護保険事業計画の中で介護保険料が決定するので、低所得者軽減強化を念頭に入れ所得段階なども考えてはどうか。

答 負担割合を変えるのか段階数を変えるのか、構成比率、所得の状況を見なが



問 スケジュール案には7月から8月に民間活用の業務範囲について庁舎内で議論とあるが内容と結果は。

答 町の上位計画の方針にのっとり現在、案を策定中。

問 次回の住民説明会では建物の概算説明となるのか。

答 現在決まっている内容の説明を行う予定。

問 2月の住民説明会では予算がわからないままでは賛成も反対もできないなどの意見が出ていたが総事業費の概算はいつになるのか。

答 P F I 事業を想定した場合V F Mを含め令和3年2月末に算出予定。



電磁波による健康への影響

日本共産党
吉村美津子
よしむら み つ こ



世界保健機関は、低周波・高周波の電磁波に対して、「発がん性の可能性がある」と評価を2Bとした。この値は、車の排気ガスやクロロホルムと同じだ。国際がん研究機関は、「4ミリガウスで小児白血病発症リスクは約2倍」「3ミリガウスで同約2倍」の研究結果などの疫学研究から2Bとした。低周波電磁波には、家庭製品、パソコン、送電線、変電所などがある。高周波電磁波には、主に携帯電話、P H S、基地局、無線ラン（LAN）などがある。電磁波による健康への影響としては、小児白血病、脳腫瘍、うつ、不眠、頭痛、精子減少など多岐にわたる。

問 世界保健機関が、低周波・高周波の電磁波を2Bとした意義を、どのように捉えるか。

答 2Bの分類については「人に対して発がん性があるかもしれない」であることから、発がん性に対して影響が確立されたものではないと捉えている。

問 先進国の高周波電磁基準規制値は、ロシアが2.4 μW/cm²、中国6.6、

パリ市1.06、ザルツブルグ州0.001、日本は1000 μWだ。日本の基準値をどう見るか。

答 総務省が決めた基準に基づき運用を行っている。

5Gはやめよ

問 5Gでは、これまでなかった強いミリ波電波が生活環境中に放射されることになる。外に出れば常に電磁波を被ばくすることになる。ベルギーでは国を挙げて反対をしている。この問題をどう捉えるか。

答 町民の健康へ多大な問題があるとは捉えていない。

その他の質問

保育所、みどり学園、学校などのPCR検査の拡充について



PCR検査の対象施設である保育所とみどり学園

議員の賛否公開します



◀詳細については議会ウェブサイトをご覧ください。

○賛成 ×反対

| 令和2年第3回臨時会 審議結果 | | 議員名 結果 | 三芳みらい | | | | | 日本共産党 | | | 公明党 | | 輝 | | | | |
|-----------------------|--|-----------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-----|------|------|
| | | | 井田和宏 | 細田三恵 | 林善美 | 細谷光弘 | 山口正史 | 吉村美津子 | 増田磨美 | 本名洋 | 小松伸介 | 桃園典子 | 内藤美佐子 | 久保健二 | 鈴木淳 | 菊地浩二 | 落合信天 |
| 予算 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和2年度三芳町一般会計補正予算（第4号） | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 令和2年第4回定例会 審議結果 | | 議員名 結果 | 三芳みらい | | | | | 日本共産党 | | | 公明党 | | 輝 | | | | |
|--|--|-----------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-----|------|------|
| | | | 井田和宏 | 細田三恵 | 林善美 | 細谷光弘 | 山口正史 | 吉村美津子 | 増田磨美 | 本名洋 | 小松伸介 | 桃園典子 | 内藤美佐子 | 久保健二 | 鈴木淳 | 菊地浩二 | 落合信天 |
| 報告 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度三芳町一般会計継続費精算報告書について | | | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度三芳町健全化判断比率の報告について | | | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度三芳町下水道事業会計資金不足比率の報告について | | | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度三芳町水道事業会計資金不足比率の報告について | | | | 報告のみ | | | | | | | | | | | | | |
| 条例 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三芳町手数料条例の一部を改正する条例 | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 三芳町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 三芳町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 予算 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和2年度三芳町一般会計補正予算（第5号） | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度三芳町介護保険特別会計補正予算（第1号） | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度三芳町下水道事業会計補正予算（第1号） | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度三芳町水道事業会計補正予算（第1号） | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度三芳町一般会計補正予算（第6号） | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和2年度三芳町一般会計補正予算（第7号） | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 道路の廃止・認定・同意等 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三芳町道路線の廃止について | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 三芳町道路線の認定について | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 三芳町固定資産評価審査委員会委員の選任同意について | | 原案同意 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和元年度三芳町下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 財産の取得について | | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 決算認定 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 令和元年度三芳町一般会計歳入歳出決算認定について | | 原案認定 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和元年度三芳町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | | 原案認定 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和元年度三芳町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | | 原案認定 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和元年度三芳町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | | 原案認定 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和元年度三芳町下水道事業会計決算認定について | | 原案認定 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

| 令和2年第4回定例会 審議結果 | 議員名 結果 | 三芳みらい | | | | | 日本共産党 | | 公明党 | | 輝 | | | | | |
|--|--------------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-----|------|------|-------|------|-----|------|------|
| | | 井田和宏 | 細田三恵 | 林善美 | 細谷光弘 | 山口正史 | 吉村美津子 | 増田磨美 | 本名洋 | 小松伸介 | 桃園典子 | 内藤美佐子 | 久保健二 | 鈴木淳 | 菊地浩二 | 落合信夫 |
| 令和元年度三芳町水道事業会計決算認定について | 原案認定 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 意見書 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 骨髄バンクドナー登録に関する意見書について | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 地方自治体のデジタル化の着実な推進を求める意見書について | 原案可決 | 議長 | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| ドクターヘリの安定・持続的運用への支援強化を求める意見書について | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 福島第一原子力発電所の放射能汚染水は大気、海洋放出ではなく、タンク保管を求める意見書について | 否決 | 議長 | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | × | × | × | |
| 少人数学級の早期実現を求める意見書について | 否決 (議長裁決) | | × | × | × | × | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | |
| 介護事業所への財政支援を求める意見書について | 原案可決 | 議長 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | ○ | ○ | ○ | |
| 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書について | 原案可決 | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | × | |

議 会 活 動 日 誌

8月

- 6日 厚生文教常任委員会
- 18日 全員協議会
- 21日 議会運営委員会
- 24日 議会広報広聴常任委員会
議会だよりモニター会議
- 28日～9月17日
令和2年第4回三芳町議会定例会
- 28日 議会広報広聴常任委員会

9月

- 4日 全員協議会
総務常任委員会

- 10日 議会運営委員会
- 14日 厚生文教常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 25日 議会広報広聴常任委員会
- 30日 令和2年第2回入間東部地区
事務組合定例会

10月

- 5日 議会運営委員会
- 6日 総務常任委員会
- 8日 議会広報広聴常任委員会
- 20日 全員協議会
- 22日 総務常任委員会

表紙写真のご紹介

町内にある介護施設でのワンシーンです。
三芳町では町内施設で新型コロナウイルス陽性者が発生した際、その施設の希望者に対してPCR検査が無料で受診できるようになりました。対象施設は介護施設、障がい者施設、保育所（園）、学校などです。介護施設では、PCR検査事業に対し「全国に先駆けての制度。とても心強いです」と喜ばれています。

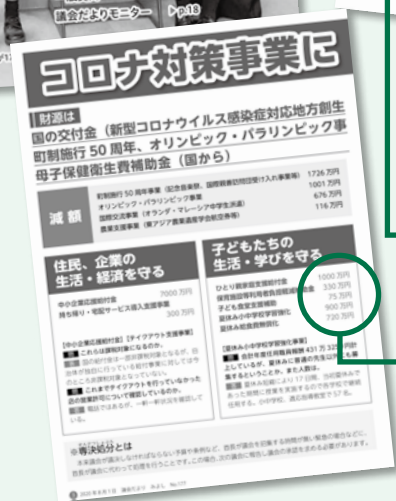


もっと

もっと

わかりやすく！ 身近に！

177号を読んでのアンケート



改善した点

- ① 議会の専門用語やひと目で内容を理解できる解説を分かりやすく記載
- ② 全体のイラストに統一感を持たせた
- ③ 難しい読みにふりがなと解説をつけた
- ④ 数字を横書きに読みやすくした

177号 アンケートまとめ

全体として

- コロナ禍での図書館が再開館の表紙は、マスク着用の子どもの姿もあり大変な中皆で頑張っている様子が伝わってきた。
- 今回はコロナ対応が気になる住民も多かったので、日頃読まない住民に注目が高かったのではと思った。冒頭部分は文字も大きく、読みやすさに好感を持った。
- 今回も限られたページの中ボリュームがあったと思う。
- 我々の税金がどの様に使われているか三芳町全体の諸々がつかめてよかった。
- 表紙下段の目次が3つに絞られ文字も柔らかく若者でも頁を開いてみようと思うのではと、好感を持たた。
- コロナ対策事業等、大変分かりやすく読みやすかった。

今後の課題

- 一般質問の記事は、関心のある人は頑張れば読むかもしれないがいつも読みにくく感じる。
- 議員の質疑応答がかなり端折られているのが残念な気がした。動画を見られない人にももっと伝わるとよいと思う。
- 収支について、棒や折れ線など視覚に訴える図表があるとよいのでは。
- 表紙の「議会だより」の文字が、もっと大きくてもよいと思う。

モニター
さんと

議会だより 意見交換会

もっと

読みやすく！



意見交換会の様子



★一般質問について沢山ご意見を頂きました。……

- 半ページで1時間の一般質問を載せるのは難しい。ページを増やしてしっかりした記事を掲載した方がよい。
- もっと踏み込んだ内容も記載した方がよい。質疑応答を見ても内容が伝わってこない。もったいない。
- 現状では詳しくは動画を見てくれということになっている。考えていく必要がある。
- QRコードは使えない人もいることを考える必要がある。
- 答弁者の担当課の名前があった方がよい。略称でも良いのではと思う。
- 文字数を増やすのは今でも文字がきついで難しいのでは。

★全体について ……………

- 議会だよりの文字が大きい方が分かりやすい。
- 最初のページで概要があった方がよい。報告、承認については数字だけなので内容を詳細に掲載し町民との距離を縮める記事の書き方がよい。
- 用語が難しいので噛み砕いた文章・注釈があるといい。
- 内容を絞ったほうがよい。読まなくなってしまう。反対意見のページを掲載してもよいのでは。
- 専決処分の説明が掲載されているが、その経過が掲載されるのか。
- 議員のひとりとなりができるような自己紹介を載せては。広報みよしの様にポップな感じでもよいのでは。
- 議会だよりは広報の一環で一般紙やバラエティではないので面白い紙面構成は難しい。今のままでよいのでは。
- 議会内のホームページに自己紹介を載せて、議会だより内でQRを掲載し見れるようにすればいいのでは。

★議会だよりモニターさんと一緒に…



後列左から（議会広報広聴常任委員会）
井田和宏・落合信夫・桃園典子・吉村美津子・
本名 洋・鈴木 淳・小松伸介・細田三恵・
林 善美

前列左から（議会だよりモニター）
小林和子・小林紀子・牛丸藍子・久松久子・
田島博之・古川拓也（敬称略）

入間東部地区事務組合報告

事務組合とは



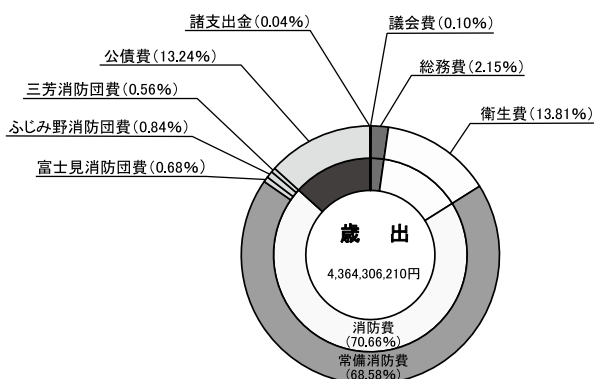
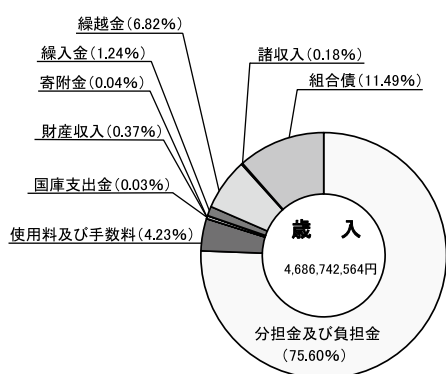
複数の普通地方公共団体や特別区が、行政サービスの一部を共同で行うことを目的として設置する組織で、三芳町、富士見市、ふじみ野市では住民の皆様の生命・身体・財産を守るための消防行政と、清潔で住みよい環境づくりを目指して浄化センターにおける、し尿処理及び入間東部広域斎場しののめの里の運営に取り組んでいます。

組合議会議員は2市1町の議会議員から5人ずつ選任され、三芳町議会からは細谷光弘、小松伸介、鈴木淳、久保健二、本名洋が組合議会議員を務めています。



令和2年度 第2回定例会報告

9月30日に入間東部地区事務組合議会定例会が開催され、令和元年度入間東部地区事務組合一般会計の決算認定の他、三芳町役場で総務課長などを務められた横山通夫氏他1名の公平委員会委員選任の計3議案がいずれも賛成総員で可決されました。



食品廃棄物を有効利用する施設が完成

平成30年3月に運営を開始した、新しい浄化センターは従来のもよりも小型化されました。それに伴い生じた余剰地の有効利用策として食品廃棄物を利用したバイオガス化（メタン処理発酵）施設が9月に竣工、運営開始をしました。

本施設は「ニューエナジーふじみ野株式会社」が建設・運営し、社会生活から生じる食品廃棄物から得られるバイオガスを用いて電力を創出し、持続可能なリサイクルサービスを提供します。

なお、土地貸付収入として事務組合には令和2年度は1086万2000円の歳入があり、貴重な財源のひとつとして組合運営に資されています。



バイオガスプラント



用語集

議会だよりに出てきた用語の説明です。

※1 意見書 (P4)

町の公益にかかわることについて、三芳町議会としての意思を意見としてまとめた文書です。本会議にはかり可決された場合、国・県の関係行政庁に議会として提出します。

※2 通告書 (P4)

議員が行う一般質問のため、事前に質問の内容を議長宛てに通告するものです。通告書を提出することで、本会議で町長など執行機関に対して、町政全般に関する質問をすることができま

※3 予算の補正または流充用 (P4)

補正予算…町の事業の内容変更や追加等により、当初予算額を増額や減額するために補正予算が組まれます。議会の議決が必要です。

流用…予算の執行上やむを得ない理由がある場合、他の予算を減額して当該予算を増額することができま

※4 不用額 (P4)

予算には計上されていても費用が抑えられたり、事業が行われなかったなどの理由によって、当年度に使う必要がなくなった額のことです。

※5 全員協議会 (P6)

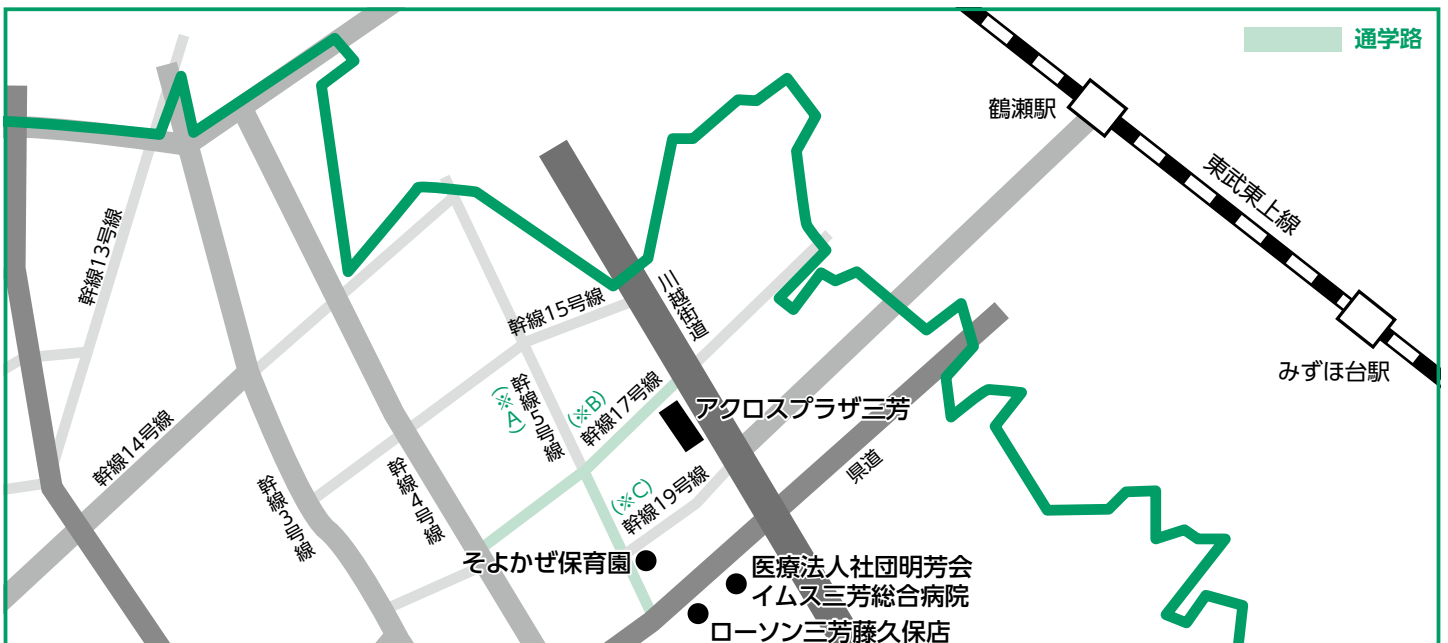
「全員協議会」は、定例会・臨時会といった本会議とは別に開かれる議員全員が参加する会議です。執行機関へ町で行う事業の説明を求めたり、議会運営に関わる案件を確認する会議となっています。

※6 収益的収入及び支出 (P9)

収入…水道料金や下水道使用料などの営業収入です。
支出…水道水の供給や下水道を維持管理するための経費、減価償却費・職員給与費などです。

※7 資本的収入及び支出 (P9)

収入…企業債や工事負担金などです。
支出…工事代、機器器具購入費・企業債元金返済などです。



議会のライブ中継を実施中です

現在三芳町議会では新型コロナウイルス感染拡大防止策の一つとして、定例会での傍聴の自粛を呼び掛けています。もちろん議会の傍聴は住民の権利として保証されているので、その代替策としてYouTubeによるライブ中継を行っております。

初日の議案説明と最終日の審議内容を中継いたしますので、ぜひ紙面だけでは伝えきれない各議員の質疑内容をご覧ください。

※各議員の一般質問については従来通り定例会終了後に録画配信をしております。



<https://www.facebook.com/miyoshimachigikai>



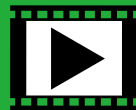
次の議会定例会は

12月1日 (火)

開会の予定です



▶ 議会の動画を配信しています。



議員の一般質問の動画をインターネット動画配信サイトYouTube上でご覧になることができます。本号の記事中にある動画のQRコードを読み込むか、右記QRコードにアクセスしてください。



三芳町議会
中継ページ

編集後記

残暑厳しい中、8月28日から9月17日までの21日間
にわたり、9月定例会が開
催されました。今回の定例会は決算
特別委員会が設置され、令和元年度
の決算審査が行われました。また新
型コロナウイルス感染防止対策の一
環として、初日と決算特別委員会、
最終日にライブ配信を実施いたしま
した。

広報広聴常任委員会では、新型コ
ロナウイルスの影響で延期となつて
いた議会だよりモニター会議も開催
することができ、モニターの皆さま
から貴重なご意見をお伺いするこ
とが出来ました。

今後ともモニターの皆さま、住民
の皆さまの忌憚ないご意見をお聞か
せいただき、より良い議会だよりと
なるように努めて参ります。

議会広報広聴常任委員会

委員長 鈴木 名木 洋
副委員長 吉本 美津子
委員 小松 伸介
委員 細田 三恵
委員 林田 善美
委員 落合 典夫

(委員 林)

声の議会だより：朗読ボランティア「けやき」の皆さんが朗読したものを
三芳町議会ウェブサイトでご覧いただけます。